

北海道大学獣医学部と札幌市円山動物園との交流実績について（令和6年度）

No	件名	内容	実績(数値等)
1 (新規)	ホッキョクグマの胆管癌における腹部超音波検査の有用性に関する共同研究	2023年度に附属動物病院で往診し、腹部超音波検査を行ったホッキョクグマの診療経過をまとめ、論文作成を行った。 <i>Veterinary record case reports</i> に投稿し、現在査読中である。	論文投稿1報(症例報告)
2	クロザルの糖尿病治療に関する論文の査読協力	令和6年度に滝口教授に査読を依頼したクロザルの糖尿病治療に関する論文が野生動物医学会雑誌に受理・掲載された。	令和6年4月に論文受理
3	動物園動物の死因究明とこれに基づく飼育管理の向上(共同研究)	平成27年度より、臨床的に死因究明が必要な飼育動物について病理解剖を実施している。	病理解剖と組織学的診断(解剖5件、組織診断依頼2件)
4	アジアゾウの保有微生物叢の調査	アジアゾウ糞便中の微生物叢について、定期的モニタリングを実施している。	試料の提供(年3回)
5	ゾウヘルペスウイルスの定期検査と共同研究	ゾウヘルペスウイルスの定期検査を行なっている。ゾウヘルペス再活性化マーカー探索について、研究を実施している。	試料の提供(年2回)
6	動物園動物の微生物叢解析	動物園動物の糞便内微生物叢を網羅的に検出するための共同研究を実施している。	資料の提供(年1回)
7	クマ類の血液DNAを用いたメチル化解析による年齢推定に関する研究	ホッキョクグマ、マレーグマ、ヒマラヤグマにおける血液DNAのメチル化レベルを解析することで、年齢を推定する手法確立について研究している。	R6年に提供を受けたサンプルの解析と結果の報告(1回)、解析結果の公表(1件の国際学会での報告、1報の論文投稿中)
8	化学物質感受性の動物種差に関する共同研究	2006年から異物代謝能に関する共同研究を実施しており、円山動物園から肝臓及び血液などを提供している。学会発表なども共著で行っている。	試料の提供(年12回)
9	動物の雌雄判定	2006年から、円山動物園からの雌雄判定依頼により、血液や羽、毛などを用いてPCRによる雌雄判定を行っている。	雌雄判定(分析依頼)、必要に応じてその都度実施
10 (新規)	ハイエナ科の生態防御機構に関する研究調査	ハイエナ科の味覚・嗅覚受容体、異物代謝酵素、ステロイドホルモン、腸内細菌叢を解析し、ハイエナの生体防御機構の特徴を解明する調査に協力し、必要な検体を提供している。	令和6年7月26日以降に検体提供

北海道大学獣医学部と札幌市円山動物園との交流実績について（令和6年度）

No	件名	内容	実績(数値等)
11 (新規)	ゴマファザラシの漏出唾液中ステロイドホルモン測定の有効性の検証	道内3園館と北大の共同研究として、ゴマファザラシにおけるトレーニング下で口腔内より漏出した唾液を用いたステロイドホルモン測定の有効性について検証する。	試料の提供(週2回)
12 (新規)	GnRHワクチンおよびGnRH徐放剤による繁殖および闘争抑制効果の検証とデータベース化	国内11園館と北大の共同研究。シロテナガザルの繁殖抑制として、GnRH徐放剤インプラントの挿入を行い、糞中および血中ステロイドホルモン動態をモニタリングすることにより繁殖抑制効果の検証とデータベース化を行う。	インプラント挿入時期について検討中
13	講義「獣医学概論」	動物診療担当係職員が非常勤講師として動物園獣医師の役割について講義を行った。	令和6年9月25日に実施
14	講義「動物園学」	動物診療担当係職員が非常勤講師として動物園獣医師の役割について講義を行った。	令和6年10月24日に実施
15	学生実習(動物園学)	「動物園学」において、学部学生実習を受入れ、動物診療担当係職員が主に動物病院と動物展示バックヤードを見学・解説した。	23名(3年生)の受入れ(年1回)
16	獣医学研究院留学生施設見学	獣医学研究院がチュラロンコン大学、香港大学と共同で実施するジョイントサマーキャンプの一環として、留学生に対し、動物診療担当係職員が動物病院と動物展示バックヤードを見学・解説した。	31名(留学生)の受入れ(年1回)
17 (新規)	大学院生向け学生実習(Human Animal Bonds and One Health)	「Human Animal Bonds and One Health」において、大学院生を対象とした実習を受け入れて、主に動物園における動物福祉について実習を動物園内で行った。	10名(D1)5名(B5)の受入れ(年1回)
18 (新規)	北大総合博物館でのホッキョクグマ展共催	10月10日～11月30日の期間、北大総合博物館で「ホッキョクグマ展」を円山動物園との共催で開催した。11月2日(日)には同博物館でトークショーを実施した。	開催中4万5千人の来館があり、多くの市民に展示を見学していただいた。
19 (新規)	シセンレッサーパンダの頭部MRI検査	附属動物病院で頭蓋内疾患を疑う臨床徴候を呈するシセンレッサーパンダに対し、神経学的検査および全身麻酔下での頭部MRI検査を実施した。	令和6年11月29日に実施
20 (新規)	フンボルトペンギンのCT検査	附属動物病院で呼吸器疾患を疑う臨床徴候を呈するフンボルトペンギンに対し、鎮静下でCT検査を実施した。	令和7年1月15日,2月26日に実施(計2回)

北海道大学獣医学部と札幌市円山動物園との交流実績について（令和6年度）

No	件名	内容	実績(数値等)
21 (新規)	エゾシカの袋角治療時の麻酔管理に関する協力	円山動物園シカ舎で実施したエゾシカの袋角治療時の麻酔管理を依頼した。	令和6年7月7日および8月2日に実施(計2回)
22 (新規)	附属動物病院における画像診断研修	附属動物病院において、動物診療担当係の柿阪獣医師を受け入れ、伴侶動物の画像診断研修を実施した。	令和6年6月から12月まで(週1回)
23 (新規)	イギリスのアニマルウェルビーイングに関する調査協力	円山動物園が実施した「札幌市海外事例調査助成事業」の「イギリスのアニマルウェルビーイングにおける先進事例調査」について、調査に同行し、情報収集・議論に協力した。	令和6年11月27日～12月6日のイギリス調査に同行
参考	ゾウヘルペスウイルスの園内迅速検査系の確立に関する協力	LAMP検査によるゾウヘルペスウイルスによる出血病の発症前診断の確立にかかる技術支援と検査に必要な試薬を動物園に提供している。	令和7年2月に1回検査を実施
参考	ゾウヘルペスウイルス関連出血病の治療に関するイギリス研修、視察への協力(予定)	イギリス・チェスター動物園で実施する円山動物園獣医師のゾウヘルペスウイルス関連出血病の治療に関する研修及び視察に同行し、本病の治療及び予防に関する情報集に協力する予定(3月14日～25日)。	令和7年3月14日から25日のイギリス研修・視察に同行